

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(1/2)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合15km付近(T-B1)	イシガレイ(筋肉)	2022/5/17	< 3.3E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/17	< 3.3E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	キアンコウ(全体)	2022/5/17	< 3.4E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/17	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	シログチ(筋肉)	2022/5/17	< 3.0E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	ソウハチ(筋肉)	2022/5/17	< 3.4E+00	< 2.9E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	ババガレイ(筋肉)	2022/5/17	< 3.3E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/17	< 4.1E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	マガレイ(筋肉)	2022/5/17	< 3.7E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/17	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1\times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1\times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1\times 10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(2/2)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	メイタガレイ(筋肉)	2022/5/17	< 3.0E+00	< 4.0E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/17	< 3.6E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	キアンコウ(全体)	2022/5/17	< 3.4E+00	< 4.0E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	ソウハチ(筋肉)	2022/5/17	< 4.0E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	ババガレイ(筋肉)	2022/5/17	< 2.9E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	マコガレイ(筋肉)	2022/5/17	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	ヤナギムシガレイ(筋肉)	2022/5/17	< 3.5E+00	< 4.1E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31，3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1，3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(1/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
太田川沖合1km付近(T-S1)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/19	< 4.0E+00	< 4.0E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	キアンコウ(全体)	2022/5/19	< 2.7E+00	< 4.1E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/19	< 5.4E+00	< 5.5E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/19	< 3.4E+00	< 3.1E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	マコガレイ(筋肉)	2022/5/19	< 3.6E+00	< 3.6E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/19	< 3.4E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	キアンコウ(全体)	2022/5/19	< 4.1E+00	< 3.5E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	クロソイ(筋肉)	2022/5/19	< 4.0E+00	3.6E+00	3.6E+00
小高区沖合3km付近(T-S2)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/19	< 3.9E+00	< 4.1E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	シログチ(筋肉)	2022/5/19	< 3.7E+00	< 3.5E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^{-1}$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(2/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合3km付近(T-S2)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/19	< 5.6E+00	< 5.2E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	マコガレイ(筋肉)	2022/5/19	< 3.9E+00	< 4.3E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/19	< 3.2E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	キアンコウ(全体)	2022/5/26	< 3.8E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/26	< 3.8E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/26	< 4.6E+00	< 5.5E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/26	< 4.3E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ホウボウ(筋肉)	2022/5/26	< 3.8E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	マダイ(筋肉)	2022/5/26	< 2.7E+00	< 2.9E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	マトウダイ(筋肉)	2022/5/26	< 3.9E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1\times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1\times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1\times 10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(3/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/26	< 4.2E+00	< 3.7E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	アブラツノザメ(筋肉)	2022/5/26	< 3.7E+00	< 3.1E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	イシガレイ(筋肉)	2022/5/26	< 2.5E+00	< 3.8E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	キアンコウ(全体)	2022/5/26	< 4.1E+00	< 4.1E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	クロソイ(筋肉)	2022/5/26	< 3.2E+00	< 3.2E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/26	< 3.3E+00	< 3.2E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/26	< 5.8E+00	< 5.1E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/26	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	マダイ(筋肉)	2022/5/26	< 3.7E+00	< 3.3E+00	ND
1 F敷地沖合3km付近(T-S4)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/26	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $○.○E±○$ とは、 $○.○×10^{±○}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1×10^1$ で31，3.1E+00は $3.1×10^0$ で3.1，3.1E-01は $3.1×10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(4/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
木戸川沖合2km付近(T-S5)	キアンコウ(全体)	2022/5/31	< 3.8E+00	< 3.4E+00	ND
木戸川沖合2km付近(T-S5)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/31	< 3.9E+00	< 3.7E+00	ND
木戸川沖合2km付近(T-S5)	ババガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.2E+00	< 3.8E+00	ND
木戸川沖合2km付近(T-S5)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/31	< 6.2E+00	< 4.8E+00	ND
木戸川沖合2km付近(T-S5)	ホシザメ(筋肉)	2022/5/31	< 3.9E+00	3.7E+00	3.7E+00
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/31	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	ガザミ(全体)	2022/5/31	< 3.8E+00	< 3.8E+00	ND
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	キアンコウ(全体)	2022/5/31	< 3.0E+00	< 3.7E+00	ND
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/31	< 3.3E+00	< 3.5E+00	ND
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/31	< 3.0E+00	< 2.9E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $○.○E±○$ とは、 $○.○×10^{±○}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1×10^{-1}$ で31，3.1E+00は $3.1×10^0$ で3.1，3.1E-01は $3.1×10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(5/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/31	< 4.1E+00	< 4.5E+00	ND
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	ホウボウ(筋肉)	2022/5/31	< 3.4E+00	< 4.0E+00	ND
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	マダイ(筋肉)	2022/5/31	< 2.7E+00	< 3.8E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	オオクチシ(筋肉)	2022/5/24	< 3.8E+00	< 4.2E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/24	< 3.6E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	キアンコウ(全体)	2022/5/24	< 3.4E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/24	< 3.6E+00	< 2.6E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	シログチ(筋肉)	2022/5/24	< 4.2E+00	< 3.5E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	ソウハチ(筋肉)	2022/5/24	< 3.0E+00	< 3.8E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	ババガレイ(筋肉)	2022/5/24	< 3.0E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1\times 10^{-1}$ で31, 3.1E+00は $3.1\times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1\times 10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(6/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合15km付近(T-B1)	マイワシ(筋肉)	2022/5/24	< 3.1E+00	< 3.0E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	マサバ(筋肉)	2022/5/24	< 3.4E+00	< 3.2E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/24	< 3.0E+00	< 3.1E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/24	< 4.6E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	キアンコウ(全体)	2022/5/24	< 3.0E+00	< 4.0E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ソウハチ(筋肉)	2022/5/24	< 3.9E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ババガレイ(筋肉)	2022/5/24	< 3.8E+00	4.1E+00	4.1E+00
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/24	< 3.0E+00	< 2.6E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マガレイ(筋肉)	2022/5/24	< 3.1E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マコガレイ(筋肉)	2022/5/24	< 3.3E+00	< 4.7E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。



魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(7/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マサバ(筋肉)	2022/5/24	< 3.4E+00	< 3.8E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	イシガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.6E+00	< 3.8E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/31	< 4.3E+00	< 3.9E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	キアンコウ(全体)	2022/5/31	< 3.4E+00	< 3.4E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	シログチ(筋肉)	2022/5/31	< 3.6E+00	< 4.0E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	ソウハチ(筋肉)	2022/5/31	< 3.7E+00	< 3.0E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	チダイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.9E+00	< 3.5E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/31	< 3.6E+00	< 3.9E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/31	< 3.7E+00	< 4.5E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	ホウボウ(筋肉)	2022/5/31	< 3.8E+00	< 3.6E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $〇.〇E\pm〇$ とは、 $〇.〇\times 10^{\pm〇}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1\times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1\times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1\times 10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(8/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	マガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.9E+00	< 3.5E+00	ND
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	マコガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.3E+00	< 3.3E+00	ND
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.2E+00	< 4.2E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	イシガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.5E+00	< 3.5E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/31	< 3.6E+00	< 2.9E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	キアンコウ(全体)	2022/5/31	< 3.5E+00	< 3.7E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/31	< 3.1E+00	< 3.2E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	シログチ(筋肉)	2022/5/31	< 3.6E+00	< 3.8E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ババガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.4E+00	< 3.7E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/31	< 3.1E+00	< 2.3E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $○.○E±○$ とは、 $○.○×10^{±○}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1×10^{-1}$ で31, 3.1E+00は $3.1×10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1×10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(9/9)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/31	< 3.5E+00	< 3.7E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	マガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 4.3E+00	< 3.7E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	マコガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.4E+00	< 3.6E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 3.2E+00	< 3.5E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	メイタガレイ(筋肉)	2022/5/31	< 4.1E+00	< 3.5E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^{-1}$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。